

[科目名] 学習導入演習				[単位数] 2単位		[科目区分] アカデミック・コモン・ベーシック		
[担当者] 大森 史博 Ohmori Fumihiro			[オフィス・アワー] 時間:授業の初回に提示する 場所:613 研究室			[授業の方法] 演習・講義		
[科目の概要] <p>学びにおける「問い」という技能を吟味することにより、大学であらたに学習を始めるにあたり、必要不可欠なアカデミック・スキルの習得を目指す。自分で「問い」を見つけ出し、探求をすすめることは楽しい。自分の経験と関心に応じて「問い」を定め、情報や資料を吟味し、考察を深め、議論を交わし、「答え」を求める。そのように、大学生生活を楽しむための、学びの技(スキル)を身につけることが本演習のねらいである。</p> <p>聞くこと、話すこと、読むこと、書くことは、相互に補い合い、増幅し合うことで、われわれが事象を理解したり、考えたりすることに役立っている。ノートテイキングやメモを活用すること、質問すること、資料を読んで要約すること、自分の気づきを文字にすること、といった学びの技を実践的に習得する。</p>								
[「授業科目群」・他の科目との関連付け]・[なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか] <p>この授業では、具体的に学びのスタイルを捉えなおし、メモやノートの方法、図書館の利用、ネットワークの活用、文献や資料の収集、整理の仕方、探求的対話と議論の実践、レポート作成の作法、引用や要約の仕方、等々を習得することを目指す。ことあらためて、勉強の仕方を問い返すことによって、これから始まる大学の授業や自分の学習は、ますます興味深いものとなるだろう。どのような仕方、どのように勉強するのかという方法やスキルは、その人その人が徐々に身につけ、改良を加えてゆくものである。とはいえ、学生生活の中心が「学ぶこと」であるかぎり、どのような学問領域、研究対象に向き合おうとするにせよ、基礎的な学習のスキルを身につけ、自分の学びのスタイルを再構築することは、この春あらたにスタートを切るにあたり必要不可欠な作業である。ともに考えることを楽しみながら授業をすすめたい。</p>								
[科目の到達目標] <p>(1) 図書館、授業、メモ、ノート、電子機器、インターネット、等々の学習のツールを使いこなす (2) 大学での学習のスタイルに慣れ親しみ、探求的に考える習慣を身につける (3) レポートや小論文を作成するための技法を身につける</p>								
[ディプロマ・ポリシー (DP)との関係]								
学部				学科				
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3		
			○					
[学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫] <p>教員と学生が深く関わることができる、授業の進行が丁寧、文章を読み解く上での大切なことについて学ぶことができた、といった点をよしとする声が寄せられた。</p> <p>その一方で、「話が長い」という指摘があった。説明が過剰にならないよう考慮する。読むこと、書くこと、聞くこと、語ることという、学びの力を身につける場として授業が機能するよう、さらなる改良をかさねていきたい。</p>								
[教科書] <p>使用しない。適宜プリントを配布する。</p>								
[指定図書] <p>なし</p>								
[参考書] <p>『大人のための国語ゼミ』野矢茂樹、山川出版社、2017年 『学術書を読む』鈴木哲也、京都大学学術出版会、2020年 『高校生と考える希望のための教科書』桐光学園、左右社、2018年 その他、授業内に紹介する。</p>								
[前提科目] <p>なし</p>								

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>授業のなかでの活動や発言、提出物(50%)、レポート課題(50%)</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>大学に入学するまでの勉強と入学してからの勉強は、すこし違います。そこで、自分の学習のスタイルとこれからの大学での学生生活、そして将来の自分について、ちょっと立ちどまって考えてみましょう。これまで、ずっとあたりまえのようにしてきた勉強について、一緒に振り返ってみることから始めます。そこに、大学での「学び」のスタイルを再構築するための気づきや発見があるはずです。そして、沢山のあたたかい仲間と会うように、沢山の良い本と出会うことを楽しんで下さい。あたたかい知識を身につけ、見聞を広げ、掘り下げて考えるのは楽しいことですし、達成感があります。それだけではありません。やがて近い将来に必ず、まだ分からないこと、答えが見つかっていないこと、あたりまえだと決め込んでいたこと、等々に向き合い、考え、調べ、探究するべき時が必ずやってきます。そうした、知的探検に乗り出すための、自分自身の「学び」のスタイルを作っていきましょう。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): イントロダクション</p> <p>内 容: この授業の趣旨と内容、具体的な作業の予定、評価の方法、自己紹介カード</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 研究テーマ、問い、先行研究</p> <p>内 容: 読書と学生生活</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 蔵書の分類、リベラルアーツ、ネット検索と文献資料</p> <p>内 容: 大学と図書館、本を探す、本を選ぶ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 作文のトレーニング</p> <p>内 容: メモ、ノート、感想文</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 引用と要約①</p> <p>内 容: 文章作成のための引用と要約の練習</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 引用と要約②</p> <p>内 容: 文章作成のための引用と要約の練習</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 引用と要約③</p> <p>内 容: 文章作成のための引用と要約の練習</p> <p>教科書・指定図書</p>

第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):問いをつくる①</p> <p>内 容:探究的思考のためのグループワーク</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):問いをつくる②</p> <p>内 容:探究的思考のためのグループワーク</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究テーマ再考</p> <p>内 容:問題設定、資料探索、引用、要約、注記、締切り</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート課題への対策①</p> <p>内 容:問いが向かうところ</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):レポート課題への対策②</p> <p>内 容:序論と結論、タイトルとサブタイトル</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究発表①</p> <p>内 容:質疑応答、推敲と再考</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):研究発表②</p> <p>内 容:質疑応答、推敲と再考</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):総括</p> <p>内 容:授業の趣旨と要点をふり返る</p> <p>教科書・指定図書</p>
試験	